



明治大学 現代マンガ図書館 所蔵マンガ本 目録データ作成・装備・配架事業

学校法人 明治大学

概要

現代マンガ図書館は、国内最大級の蔵書数をもつマンガ専門図書館である。設立者の故・内記稔夫氏より寄贈を受けた時点では、目録は紙の台帳で管理されていた。明治大学では10年かかって目録の「データベース化」に取り組み、20万冊の目録作成を実施。これまでは、作家、作品、レーベル毎に配架された資料への作業だったのに対し、残り7万冊は購入時のまま「未配架」であった資料が対象となる。場所も要員も限られた中で、いかに効率的に目録を作成し、合理的な「配架」を実現するかが課題となった。

体制／手法

- 【対象】①現代マンガ図書館の未登録資料の目録データ作成作業（対象：1万冊超）
②①と目録データ作成済の1万冊を加えた未整理資料の装備・配架作業（対象：約2万冊）
- 【方法】①ISBNを使いメディア芸術データベース（MADB）より書誌データを取得する
②MADB WebAPIを使用して資料関連情報を取得、配架用データを作成
専門業者による限られた作業場所での大規模（約2万冊）の配架を試行する
③書誌データ作成の課題と成果、配架計画の作成、配架作業における課題を整理
実施ノウハウをドキュメント化し、WEBで公開する

成果

- 【対象】①現代マンガ図書館の未登録資料の目録データ作成作業（9,873冊）
②①と目録データ作成済の1万冊を加えた未整理資料の装備・配架作業（20,445万件）
- 【方法】①ISBNを使いメディア芸術データベース（MADB）より書誌データを取得する
②MADB WebAPIを使用して資料関連情報を取得、配架用データを作成
専門業者による限られた作業場所での大規模（約2万冊）の配架を試行する
③書誌データ作成の課題と成果、配架計画の作成、配架作業における課題を整理
実施ノウハウをドキュメント化し、WEBで公開する

● 未整理状態の資料をどう整理するか

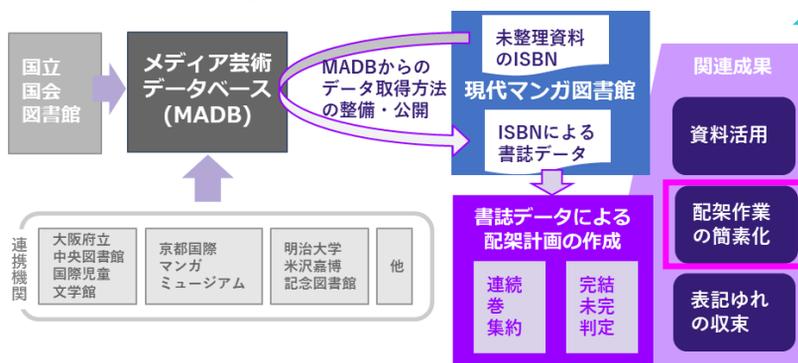


● 従来方式の棚配架



多くの作業場所と
書架と要員が必要

● MADBを使った事前配架計画の作成



● 新方式の収納配架



限られた作業場所
と要員で実施可能

